

令和7年度学校評価結果

| 本年度の重点目標 | | ○働き方改革の推進 ○ICT活用による教育の充実 ○多様な生徒への支援 | | | |
|----------|-----------------|---|---|--|---|
| 分掌 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価結果と課題 | 最終評価 | |
| 1 | 総務 | 広報活動の充実 | 「学校案内」「蔵高News」などの広報誌を充実させ、本校の魅力をアピールする。 | ・学習活動、部活動にとどまらず、オーストラリア研修、ボランティア活動など、生徒の多岐にわたる活動場面で、視覚的に分かりやすく発信している。 | B |
| | | さまざまなPTA活動のサポートをする。 | ・PTA役員・委員と教職員の連携を密にしていく。 ・活動していただくことの再検証を行う。 | ・昨年度に引き続き、体育祭において、PTA役員会・委員会の方々が、ジュース販売をしていただいた。とてもありがたいことであるが、今後、PTA活動が過負担にならないよう検討を続けていく。 ・PTA広報誌「くら高」と生徒の学校での活動の記録誌「つうしんKozoji」の統合を検討している。 | B |
| | 進路指導 | 進路についての視野を広げ、主体的に考える姿勢の育成 | ・進路講演会や大学出張講義等、進路関連行事の充実を図る。 ・各学年と連携して進路探究の内容をブラッシュアップし、生徒の進路意識の高揚を図る。 | ・進路講演会や大学出張講義については、講師の選定や講義内容にこだわった。生徒アンケートの結果から、効果的な進路行事にすることができた。好評であった講師についてはリポートも検討したい。 | A |
| 2 | 教務 | 生徒と教員に対しての積極的な情報発信 | ・教室や廊下への掲示物等を充実させて、生徒の進路選択の参考になる情報を積極的に発信する。 ・教員が安心して進路指導できるように、様々な統計データや役立つ資料などの情報を発信する。 | ・各大学、ベネッセ、河合塾など役立つ資料を精選して情報発信することができた。 ・大学入試の制度や電子化などの出願手続きが変化している。掲示物などをとおして適切に情報発信できるように努めていきたい。 | B |
| | | 新しい観点別評価を改善する | ・より適切な成績評価が行えるような方法の研究と情報提供をする。 ・生徒の学力向上と教員の業務増加防止の両方の視点から考えていく。 ・簡単に、かつ、ミスが起きにくい成績処理方法を研究する。 | 昨年度の反省から、入力方法を変更した。教務部員の作業量の軽減ができ、ミスを防ぎやすくなった。しかしながら、スクールエンジンのシステム上、教務部での点検で見えるミスの種類は限りがある。他校も頭を抱えているなか、本校は教科担当の先生方の協力が得られているのでありがたい。 | B |
| | 総合的な探究の時間の内容の充実 | ・社会の一員であることを自覚し、それに向けて成長していく実感が持てる内容を検討する。 ・効果的な実施時期や教科とのつながりを研究し、時間数の調整をする。 ・協働的な活動や講師を招いた講演会を実施するなど、外部の機関の活用を研究する。 | 昨年度に引き続き、内容の検討を重点項目に掲げたが、議論は難航し、さらに来年度へ持ち越すこととした。来年度はプロジェクトチームを作って内容の検討をしたい。 | C | |
| 3 | 図書 | 蔵書の整理をすすめ、心地よい空間・居場所であるように環境を整える。 | ・蔵書の整理を進め、書架の有効活用を図る。 ・生徒、職員が活用しやすく、心地良く過ごせる空間を保持する。 ・寄贈本の受け入れや管理することのできる環境を整える。 ・生徒及び教職員のニーズに応じたバランスの良い蔵書構成となるよう選定に努める。 ・生徒の学習活動や修学旅行などの行事に対応した図書館利用を提案していく。 | 経年劣化などで状態が悪い本や内容が古くなった蔵書については積極的に除籍し、新たなスペースを確保するとともに、配置の改善を進めた。近隣施設からの寄贈本を受け入れ、蔵書の補充につなげることが出来た。 | B |
| | | 生徒の文化的な活動の場として図書委員や生徒の主体的な活動をサポートする。 | ・図書館で生徒の作品を展示・発表する機会を増やす。 ・委員には行事での役割分担を具体的に示し、活動を促す。 | 委員会活動については、より主体的に取り組めるよう、活動内容を事前に伝え、行事や活動に参加しやすいように時間調整に配慮したことにより、行事の準備や当日の運営に主体的にかかわる姿が見られた。 | A |
| | | 委員会活動や図書館行事などを生徒・保護者に発信し、図書館の利用や行事への参加を促す。 | ・生徒向けに「図書館だより」や「図書館広場」を定期的に発行する。 ・委員からクラスへの連絡、ポスター、SNSなどで図書館行事への参加を促す。 | 図書館行事には多くの生徒が参加し、文化的な活動の場として成果が見られた。 | A |
| 4 | 特別活動 | 学校行事や生徒会活動において、生徒が主体的にかつ協力して活動に取り組む姿勢を養う。 | ・生徒会や委員会の活動を促し、生徒が自主的、かつ協力的に取り組むことができるような環境を整える。 | 各行事において生徒が自主的に活動して実施することができた。球技大会や体育祭の雨天案を準備していきたい。 | A |
| | | 学校内外への情報発信。 | ・HP、生徒会だより、校内掲示板の活用及び整備。 | SNSを活用して情報発信に努めた。また、生徒会室前にホワイトボードを設置して、生徒会や各種委員会、部活動の情報発信の場を設けた。 | A |
| | 保健 | 生徒情報の共有と対話への活用 | ・個々の生徒が抱える心身の諸問題に対し、全職員で連携を図り、生徒一人一人に寄り添う対応を行う。 ・SC,SSW等の活用と外部機関との連携を図る。また、支援部会でのケース会議をもとに、その対応や対策を検討・実践し、問題解決の一助とする。 | ・教育支援に関しては、担任、養護教諭、学年主任、支援部教諭、SC等複数人数で対応し、本人や保護者との対話を通じ、よりよい成長に繋がる一助とした。 ・オンライン授業の実施など、教務部との連携も密にしている。 | A |
| 5 | 生徒指導 | ゴミの減量 | ・ゴミの持ち帰り、分別の徹底を図り、ゴミの減量に努める。 ・ペーパーレス化の推進。 ・ペットボトルの分別回収の徹底。 | ・年度当初に清掃道具関係一覧を作成し、教室掲示したことで分別に関する混乱がなくなった。 ・ごみの減量やペットボトル分別も良好であった。 | A |
| | | 交通安全の励行 交通事故の減少 | ・交通事故件数の減少 ・登校時、下校時の交通指導と身だしなみ指導など注意喚起を促す。 ・集会時やSTを利用して、交通安全について呼びかけをする。 | ・自転車の乗車マナーについては例年より近隣の方からの苦情は増えたように感じる。交通マナーについての呼びかけを定期的に発信していく必要がある。 ・令和8年4月より自転車に対するルールが厳格化されるため、徹底方法を検討しなければならない。 | B |
| | | 情報モラルの向上 | ・情報モラルについて講演会を実施する。 ・集会時やLT・STを利用してモラルの向上を図る。 ・アンケートを通して、スマートフォンなどの情報機器の利用状況を把握し、適正な利用ができるように理解させる。 | ・今年度情報モラルに関するトラブルは起こっていないが、引き続きスマホ安全利用講座などを実施し、徹底に努めたい。 | A |
| 6 | 学校全体 | 基本的な生活習慣の確立 | ・遅刻・早退・欠席数の減少に努める。 ・授業の始まり等の時間を守らせる。 ・高校生としてふさわしい頭髪や服装規定を遵守した容姿にさせる。 | ・欠席数は、ほぼ横ばいだが減少している。 ・年間を通して、社会通念に通じたマナー指導に努めていきたい。 | B |
| | | 働き方改革の推進 | ・最終締結時間、勤務時間外の電話対応時間の見直しと徹底。 ・各種会議資料等のペーパーレス化推進。 ・業務軽減のための「ひと手間を省く」工夫と改善。 | ・2学期から電話対応時間を大幅に見直したことにより、生徒へ還元できる時間が増加した。 ・会議におけるペーパーレス化は促進された。 ・業務改善については、いくつかの行事について議論が進み、改善に至った。在校時間45時間未満に向けて、来年度も継続して改善していく必要がある。 | B |
| | | ICT活用による教育の充実 | ・スクール・ポシシーに基づくカリキュラムマネジメントの推進。 ・授業支援アプリ、採点システム等の活用の推進。 ・「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組。 | ・採点システムを活用することで、働き方改革につながった。今後も返却ミス等が行らぬようしていきたい。 ・ICTの活用に関しては、授業改善も含めて各教科でさらに工夫が必要である。 | B |
| 7 | 多様な生徒への支援 | 支援部会、相談委員会、学年主任会での情報共有と対応方法等の協議。 | ・支援部会の実施時間を変更したことにより、さらに情報共有がスムーズとなり、生徒対応へ結びつけることができた。 ・外部機関と連携することもでき、学校としてできる対応を考え生徒の支援につながった。 ・SCからの研修を受講した。教員がアンテナを高く持ち生徒に寄り添うことができている。様々な予防につながっている。 | A | |
| | | 重点目標の達成度、学習指導と家庭生活の充実、国際教育への取組み、交通安全や身だしなみ指導への取組み、進路実現に向けた情報提供や行事への取組み、教育相談体制、校内美化活動、学校行事や部活動指導への取組み、学校いじめ防止基本方針に基づく取組み、勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止に向けた取組み | | | |